

オゾン除菌を **目に見える** ものとし
除菌革命を行います。



YSくりん YS01CT

CT値積算計付オゾンガス濃度計

世界初!! CT計
特許申請中

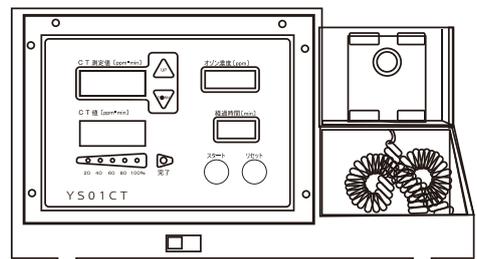
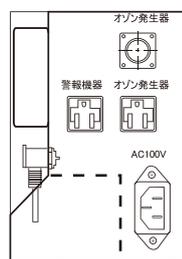
従来の経験値と勘から客観的な数値管理へ!!

YS01CT:仕様

(高)194mm(幅)313mm(奥)135mm 重量 3.2kg ※突起部除く

CT計

電源	AC100V 50/60HZ
その他	接点出力付
測定方法	センサー方式 (ヒートメタルオキシサイドセミコンダクタ)
測定範囲	0.5~10.00ppm
測定制度	±10% FS
消耗品	オゾンセンサーモジュール (1年毎25,000円)



CT値とは？

オゾン濃度(オゾンの発生量)と燻蒸時間の目安を推察することが可能になる。

殺菌・不活性効果を示す指標として国際的に認められているものでガス濃度と時間の積(濃度ppm × 時間min)を表しておりCT値が高いほどその効果は増加し、逆にCT値が低いほどその効果は低下します。

その関係は小学校の時に学んだ「距離と速度と時間の関係」に大変似ています。右の図を参考にCT値をイメージしてください。



オゾンとは数値で管理する時代です。オゾンと向き合う。

CT計活用の2つの意味

- ① 経験や勘からお客様の要望別の最適なオゾン処理を数字 (CT値) により分析・発見することが可能です。効果の事前検証が確実となります。
- ② オゾン処理運用に際し先に発見された数値 (CT値) に基づく運用が可能となります。効果の標準化につながります。

CT計・オゾンガス発生装置関連フローイメージ



オゾンガス発生装置より発生させたオゾンガスの濃度をCT計の濃度センサーにより測定し、測定されたオゾンガス濃度をCT積算計により稼働時間との積として(いわゆるCT値)表示する。CT計にはあらかじめ必要CT値を設定しておきそのCT値に達した場合は自動でオゾンガス発生装置を停止させる。

オゾンの除菌効果CT値(ppm・min)=オゾン濃度(ppm)×処理時間(min)

各種細菌及びウイルスに対する除菌効果のct値は60ppm・min以上である。

(昭和薬科大学 微生物研究室 データ参考)

CT値で広がる用途開発

- ・害虫の退避対策
- ・歯科等の器具殺菌
- ・オートクレープの代用
- ・ワインのコルク殺菌
- ・シーツの消毒
- ・枝肉、ホルモンの殺菌 食肉工場向け
- ・印刷工場の濡れせいの向上
- ・3Dメガネの殺菌
- ・刃物の殺菌 (器具) 食品、老人ホーム
- ・眼科の器具の燻蒸 殺菌
- ・イチゴ、ブルーベリー等ビニールハウス中の殺菌(カビ対策)
- ・イチゴ、ブルーベリーの殺菌

オゾンガス除菌データ

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
ウイルス・細菌		除菌方法	CT値 (ppm×min)	死滅率 (減少率) (%)						
①	一般細菌	大腸菌	ガス	60	99.99					
②	一般細菌	Staphylococcus pyogenes(化膿レンサ球菌)	ガス	60	100					
③		Staphylococcus aureusIFO12732(化膿レンサ球菌)	ガス	24	100					
④	新型インフルエンザ(H1N1)		ガス	18	99.7					
⑤	新型インフルエンザ(H5N1)		ガス	60	100					
⑥	Norovirus(ノロウイルス)		ガス	72	100					
⑦	Bacillus cereusIFO13494(セレウス菌)		ガス	24	100					
⑧	Vibio ParahaemolyticusIFO12711(腸炎ブピリオ)		ガス	24	100					
⑨	Salmonella typhimuriumIFO14193(サルモネラ菌)		ガス	24	100					
⑩	硫化水素		ガス	28	100					

※各検証機関
分析センター及び
①消山市
②防府市
③山形県工業技術センター
④昭和薬科大学微生物研究室
⑤オゾン株式会社
⑥和歌山県立衛生研究所
⑦山形県立衛生研究所
⑧北里大学
⑨財団法人ウイルス学研究所
⑩日本食品衛生協会